

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

※ あてはまる□を☑または■で選択してください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立東陵中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒440-0006
愛知県豊橋市牛川町字乗小路32-35

E-mail toryo-j@toyohashi.ed.jp

Website <http://www.toryo-j.toyohashi.ed.jp/>

児童生徒数 男子 209名 女子 203名 合計 412名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ① 7月19日(火) 愛知みらいフォーラムの福和伸夫先生をお迎えして「南海トラフ巨大地震」地質と生活の場として住居、学校建物、家具とその危険性など私たちを取り巻く環境と地震について考え、大地震の発生と歴史的出来事の関連を学んだ。さらに、自分と他人の命を守るためになすべき大切なことを、自らの問題として具体的に考える講演を聞いて多くのことを学んだ。
- ② 夏休み中には、地域の自治会を単位として行われている『盆踊り』等に積極的に参加し、地域の伝統をつないでいこうとする意識をもった。
- ③ 9月17日(土) 文化祭では、校地に隣接する『忠興八幡社』の『忠興八幡太鼓』の皆さんを講師として招へいし、地域の伝統文化を持続発展させる地域社会づくりの担い手として少しでも成長できるように『体験教室』を開催した。
- ④ 10月8日(土) 『忠興八幡神社』の祭礼に、太鼓や笛の奏者や踊り手として多くの生徒が関わった。
- ⑤ 給食の『残食0』を目標に掲げ、毎日、給食の残食がないような食育指導をしたり、家庭科の授業では、フェアトレードの学習をしたり、調理実習の際には残滓がないように心がけた。東陵中学校では、地域連携推進校として地域に密着した活動を行ってきた。
- ⑥ 1年生が、「福祉体験実践教室」として、10月に講師を招いて福祉体験をし、福祉について考えたうえで、12月にそれを生かして福祉施設訪問をした。
- ⑦ 7月11日(月) 1年生が、『朝倉川クリーン活動』を実施し、校区を流れる朝倉川の堤防や、遊歩道の清掃活動を行った。

また、緊急地震速報を受診した際の行動訓練を行っている。

ESDに関して『地域の中心であるユネスコスクール』ということが、地域、PTAにも浸透し、11月26日(土)に行われた『ふれあいバザー』に出品された品物のうちのいくつかを『フィリピンへ支援物資を送る会』を通してフィリピンへ送り、感謝状をいただいた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）